

【受益者の皆さまへ】

2017年3月10日

野村アセットマネジメント株式会社



## 「日本企業外貨建て債券ファンド2016-03 (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」 愛称：ボンドジャパン 2017年3月9日決算の分配金について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

「日本企業外貨建て債券ファンド2016-03 (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)」<愛称：ボンドジャパン>  
(以下、ファンドといいます。)の2017年3月9日決算における分配金をお知らせいたします。

今回の決算におきまして、米ドルのヘッジコストの高止まり、基準価額水準および基準価額に対する分配金額などを総合的に勘案し、信託財産の着実な成長を目指すべく、「為替ヘッジあり」の分配金を30円から5円に引き下げることいたしました。

なお、「為替ヘッジなし」につきましては、円安要因による基準価額の回復などを総合的に勘案し、分配金を0円から90円に引き上げることいたしました。

ファンド設定以降の基準価額変動の背景および今後の見通しについては2、3ページをご参照ください。

### ● 分配金

**為替ヘッジあり：1万口当たり 5円 (課税前) (前回決算：30円)**

**為替ヘッジなし：1万口当たり 90円 (課税前) (前回決算：0円)**

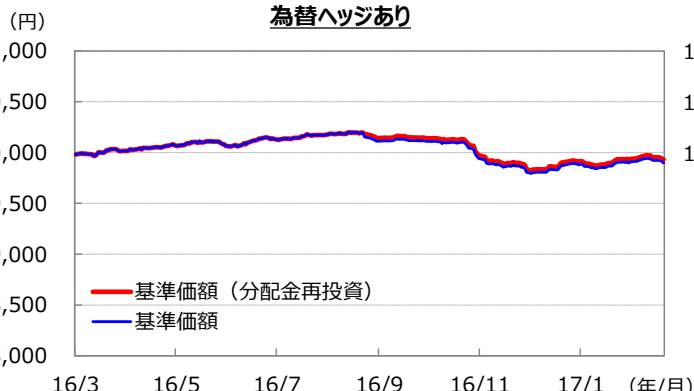
前回決算：2016年9月9日

分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

**ファンドは単位型投信であり、分配金に対する課税は、原則として、分配時の分配金の全額が課税対象となります。なお、追加型投信における普通分配金、元本払戻金(特別分配金)の区分は、単位型投信にはありません。**

### ● 設定来の基準価額の推移 期間：2016年3月18日(設定日)～2017年3月9日、日次

為替ヘッジあり



2017年3月9日現在

基準価額：9,897円

基準価額(分配金再投資)：9,931円

為替ヘッジなし



2017年3月9日現在

基準価額：10,196円

基準価額(分配金再投資)：10,286円

基準価額(分配金再投資)とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。

**上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。**

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します(また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。)ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。

## ファンド設定以降の基準価額変動の背景について

### 第1期：2016年3月（設定月）～2016年9月上旬まで

当期間中の市場動向につきましては、米国債利回りは低下（価格は上昇）し、クレジットスプレッド（米国債利回りと米ドル建て社債の利回り格差）は縮小しました。2016年6月下旬に実施された英国におけるEU（欧州連合）離脱の是非を問う国民投票において離脱支持派が勝利したことで、世界経済の先行き不透明感の高まりから米国債利回りは低下基調で推移する一方、足元の金融緩和環境が継続されるとの観測が高まったことでクレジットスプレッドは概ね堅調に推移しました。

上記投資環境の下、「為替ヘッジあり」については、主に債券保有によるインカムゲイン（利子収入）に加えて、米国債利回りの低下やクレジットスプレッドの縮小等がプラス寄与となった結果、基準価額が上昇しました。一方、「為替ヘッジなし」に関しては前述の要因がプラス寄与となったものの、円高進行に伴い為替効果がマイナスとなった結果、基準価額は下落しました。

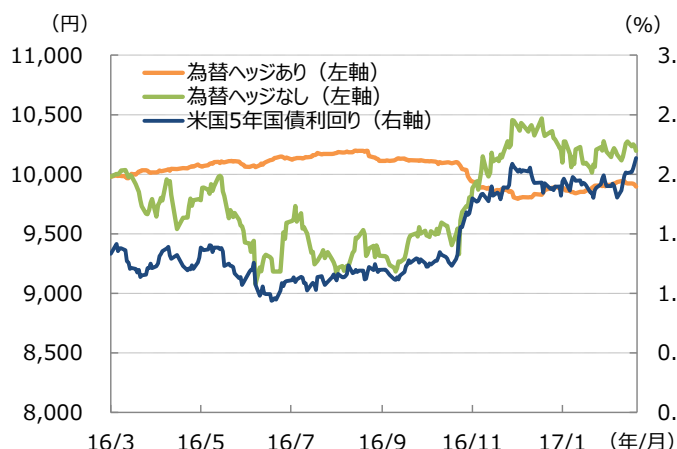
### 第2期：2016年9月上旬～2017年3月上旬まで

当期間における市場動向につきましては、引き続きクレジットスプレッドは概ね堅調に推移する一方、米国債利回りは大きく上昇しました。11月に実施された米国大統領選挙においてトランプ氏が勝利し、同氏の掲げる大型減税やインフラ投資などの政策が米国経済成長を加速させるとの期待が高まったことが、米国債利回り上昇の契機となりました。また、為替ヘッジコストの動向に関しては、12月に約1年振りとなる政策金利の引き上げが実施される等、米国の利上げ観測が高まりつつある一方で、9月には日本銀行による現行の金融政策に対する総括検証が発表され、当面は緩和的な金融政策が継続される公算が高まったことから、日米金利差の拡大等を受けて為替ヘッジコストも上昇基調で推移しました。

上記のような投資環境の下で、「為替ヘッジあり」については、債券保有によるインカムゲインやクレジットスプレッド縮小によるキャピタルゲインを米国債利回り上昇に伴うキャピタルロスが上回った結果、基準価額は下落しました。一方、「為替ヘッジなし」に関しては前述の要因がマイナス寄与となったものの、円安進行に伴い為替効果がプラスとなった結果、基準価額は上昇しました。

基準価額と米国債利回り(課税前)の推移

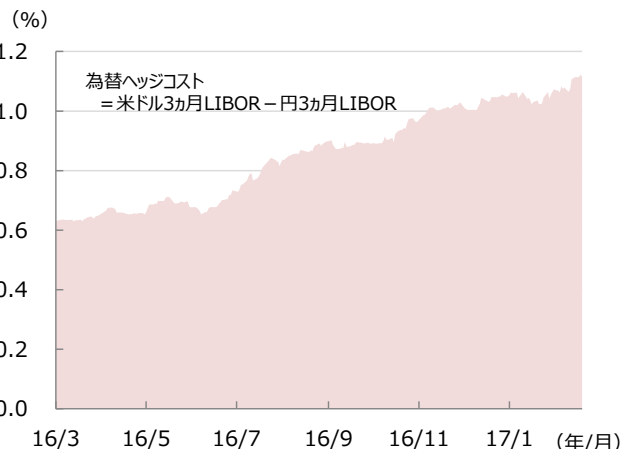
期間：2016年3月18日（設定日）～2017年3月9日、日次



米国5年国債利回り：ブルームバーグ・ジェネリク

為替ヘッジコストの推移

期間：2016年3月18日（設定日）～2017年3月8日、日次



上記の為替ヘッジコストは簡便法によるものです。

(出所) ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドの運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。）ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。

## 今後の見通しについて

以下の内容は当資料作成時点のものであり、予告なく変更する場合があります。

### 米ドルの金利水準およびヘッジコスト

米国の金利水準については当面高めで推移するものと見込まれます。但し、トランプ政権の減税・公共投資などの拡張的な財政政策の効果が出てくるのは2018年になってからであることから、市場は先行きの期待をやや織り込みすぎているものとみております。一方で、FOMC（米連邦公開市場委員会）が、2017年の政策金利見通しを高めに置いていることはリスク要因と考えられます。ヘッジコストについてはFRB（米連邦準備制度理事会）が緩やかなペースで利上げを行なうことを想定し、当面は現行水準から緩やかに上昇して推移するとみております。

### クレジットスプレッド（米国債利回りと米ドル建て社債の利回り格差）

保有している日本国内発行体の信用ファンダメンタルズ（基礎条件）に関しては、引き続き信用力に懸念が生じる可能性は低いと考えております。また、米国をはじめとする世界景気動向において緩やかな成長が見込まれることも、グローバルな社債市場全体へのサポート要因になると考えており、クレジットスプレッドは安定的に推移するとみております。

ヘッジコストについては現状水準から緩やかな上昇を想定しておりますが、クレジットスプレッドは堅調に推移するとの見通しの下、基準価額は保有銘柄のインカム収入を享受しながら緩やかに回復していくと考えております。今後の分配金の金額につきましては、先行きの為替ヘッジコストの動向や基準価額水準などを踏まえ、改めて検討していく予定であります。

今後とも「日本企業外貨建て債券ファンド2016-03（為替ヘッジあり） / （為替ヘッジなし）」〈愛称：ボンドジャパン〉をご愛顧賜りますようお願い申し上げます。

以上

(ご参考) 「為替ヘッジあり」の資産内容 2017年2月28日現在

● ポートフォリオ特性値

|                  |      |
|------------------|------|
| 平均クーポン           | 3.7% |
| 平均最終利回り          | 2.9% |
| 平均最終利回り (為替ヘッジ後) | 1.9% |
| 平均デュレーション        | 3.8年 |
| 平均格付             | A    |

・左記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（クーポンレート、最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものを、現地通貨建。また、格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。  
 ・デュレーション：金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。  
 ・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

● 証券種別配分比率

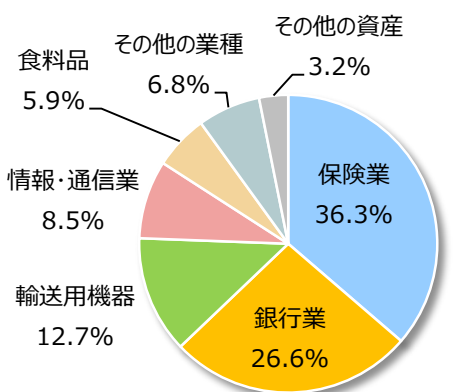
|      |       |
|------|-------|
| 普通社債 | 60.5% |
| 劣後債  | 36.3% |

● 国別配分比率

|    |       |
|----|-------|
| 日本 | 96.8% |
| 米国 | 0.0%  |

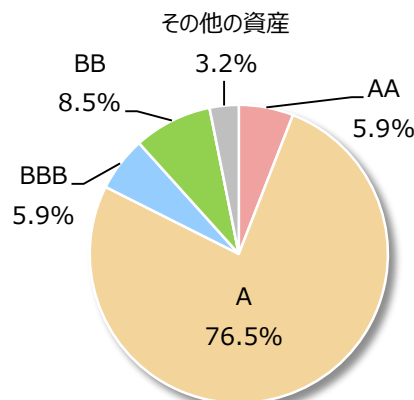
・国は、発行体もしくはその親会社本社の所在地で区分しています。

● 業種別配分比率



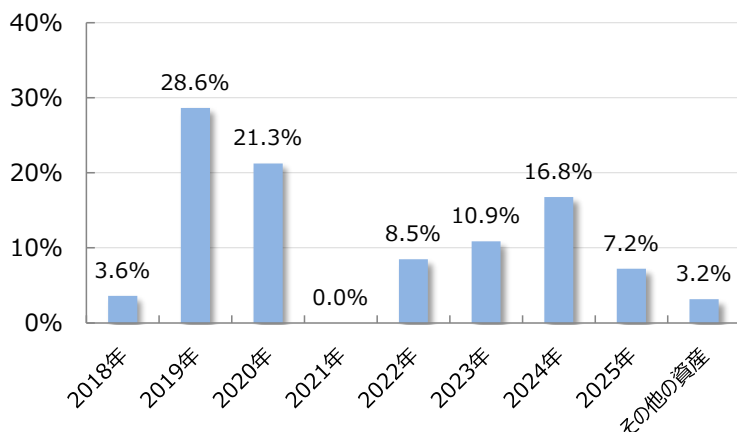
・東証33業種分類によります。  
 （東証非上場会社は野村アセットマネジメントが分類）

● 格付別配分比率



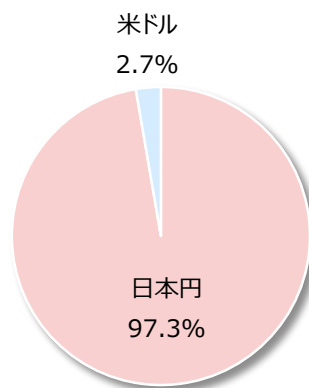
・格付はS & P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

● 償還年別配分比率



・四捨五入により、合計が100%にならない場合があります。  
 ・上記の各資産配分比率は純資産比です。純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

● 通貨別配分比率



・通貨別配分比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。）ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。



(ご参考) 「為替ヘッジなし」の資産内容 2017年2月28日現在

● ポートフォリオ特性値

|                  |      |
|------------------|------|
| 平均クーポン           | 3.8% |
| 平均最終利回り          | 3.0% |
| 平均最終利回り (為替ヘッジ後) | —    |
| 平均デュレーション        | 3.8年 |
| 平均格付             | A    |

・左記のポートフォリオ特性値は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（クーポンレート、最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したもので、現地通貨建。また、格付の場合は、現金等を除く債券部分について、ランク毎に数値化したものを加重平均しています。  
 ・デュレーション：金利がある一定割合で変動した場合、債券価格がどの程度変化するかを示す指標。  
 ・平均格付とは、基準日時点で投資信託財産が保有している有価証券に係る信用格付を加重平均したものであり、当該投資信託受益証券に係る信用格付ではありません。

● 証券種別配分比率

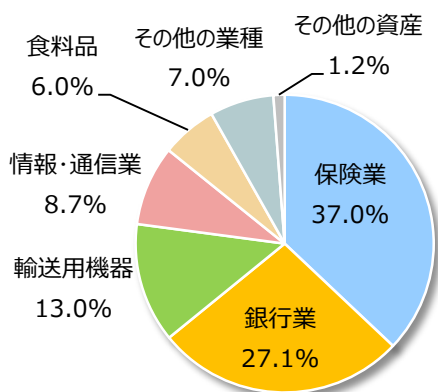
|      |       |
|------|-------|
| 普通社債 | 61.7% |
| 劣後債  | 37.0% |

● 国別配分比率

|    |       |
|----|-------|
| 日本 | 98.8% |
| 米国 | 0.0%  |

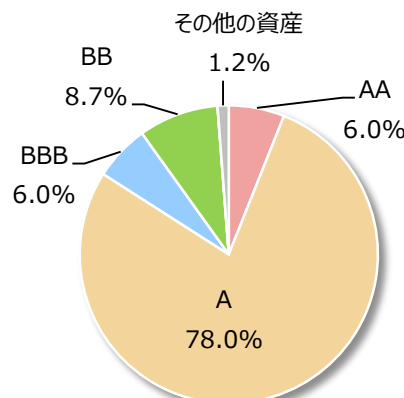
・国は、発行体もしくはその親会社本社の所在地で区分しています。

● 業種別配分比率



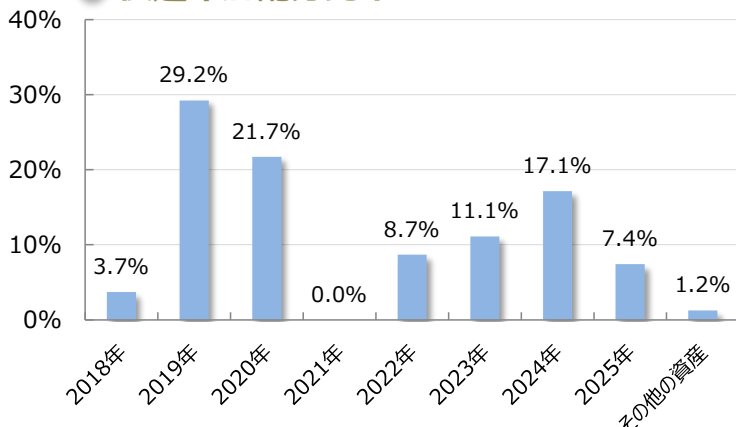
・東証33業種分類によります。  
 （東証非上場会社は野村アセットマネジメントが分類）

● 格付別配分比率



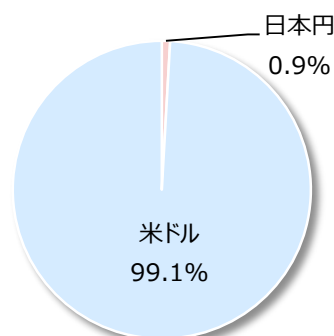
・格付はS & P社あるいはムーディーズ社のいずれかの格付機関の高い方の格付によります。

● 償還年別配分比率



・四捨五入により、合計が100%にならない場合があります。  
 ・上記の各資産配分比率は純資産比です。純資産比は、マザーファンドの純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出しております。

● 通貨別配分比率



・通貨別配分比率は為替予約等を含めた実質的な比率をいいます。

上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

当資料は、ファンドの運用実績に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料で、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、債券等の値動きのある有価証券等に実質的に投資します（また、外貨建資産に投資しますので、この他に為替変動リスクもあります。）ので基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンド運用による損益は、すべて受益者に帰属します。

日本企業外貨建て債券ファンド2016-03  
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)  
愛称：ボンドジャパン

## 【ファンドの特色】

● 信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。

### ● 主要投資対象

|                                    |  |
|------------------------------------|--|
| 日本企業外貨建て債券ファンド2016-03<br>(為替ヘッジあり) | 日本企業外貨建て債券マザーファンド <sup>※</sup> 、わが国の政府、政府機関、地方公共団体および企業 <sup>※1</sup> が発行する先進国通貨建て <sup>※2</sup> の公社債 <sup>※3</sup> (以下、「先進国通貨建て公社債」といいます。)ならびに日本を含む先進国の国債、政府保証債および地方債等(以下、「日本を含む先進国の国債等」といいます。)を主要投資対象とします。 |
| 日本企業外貨建て債券ファンド2016-03<br>(為替ヘッジなし) | 日本企業外貨建て債券マザーファンド <sup>※</sup> を主要投資対象とします。  |

※「日本企業外貨建て債券マザーファンド」は、先進国通貨建て公社債および日本を含む先進国の国債等を主要投資対象とします。

\*1 国内外の連結子会社および持分法適用関連会社を含みます。

\*2 日本円を除きます。

\*3 劣後債等を含みます。

● ポートフォリオの構築にあたっては、先進国通貨建て公社債の中から、ファンドの信託期間内に満期償還日または繰上償還可能日を迎える公社債を中心に、信用力、利回り水準、流動性等を考慮し、投資対象銘柄を選定します。

◆ 当初ポートフォリオ構築完了時点における組入銘柄の平均格付はBBB格相当以上とすることを基本とします。

● 保有する先進国通貨建て公社債のうち、信託期間内に満期償還日または繰上償還可能日を迎える銘柄については、原則として当該日まで持ち切り、信託終了日後に満期償還日または繰上償還可能日を迎える銘柄については、原則として信託終了日前に売却することを基本とします。

● 保有する先進国通貨建て公社債が償還された場合には、その償還金をもって、信用力、利回り水準、流動性やファンドの残存信託期間等を勘案し、先進国通貨建て公社債あるいは日本を含む先進国の国債等へ投資します。

◆ 投資対象銘柄は取得時においてBBB格相当以上の格付を有するものとします。ただし、当初ポートフォリオ構築完了時の組入銘柄の発行体と同一の発行体が発行する先進国通貨建て公社債、および日本を含む先進国の国債等についてはこの限りではありません。

※組入銘柄の格付は、S&PおよびMoody'sの両者の格付が付与されている場合、いずれか高い方を基準とします。

● マザーファンドの組入比率は高位を基本とします。

◆ 日本企業外貨建て債券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)は、マザーファンドを高位に組入れることを基本としますが、為替ヘッジコスト、信用力、利回り水準、流動性やファンドの残存信託期間等を勘案し、先進国通貨建て公社債および日本を含む先進国の国債等に高位に直接投資を行なう場合があります<sup>※</sup>。

※直接投資を行なう場合の投資対象銘柄の格付は、前述の格付基準(償還金で投資する場合の格付基準)と同様とします。

◆ 日本企業外貨建て債券ファンド2016-03(為替ヘッジなし)は、マザーファンドを原則として高位に組入れることを基本とします。

● 日本企業外貨建て債券ファンド2016-03(為替ヘッジあり) (「為替ヘッジあり」といいます。)は原則として為替ヘッジを行ない、日本企業外貨建て債券ファンド2016-03(為替ヘッジなし) (「為替ヘッジなし」といいます。)は原則として為替ヘッジを行ないません。

● ファンドは「日本企業外貨建て債券マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。

### ● 分配の方針

原則、毎年3月および9月の9日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行ないます。分配金額は、分配対象額の範囲内で、原則として、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して委託会社が決定します。

\* 委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合があります。

日本企業外貨建て債券ファンド2016-03  
(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)  
愛称: ボンドジャパン

【投資リスク】

各ファンドは、債券等を実質的な投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。  
したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。

※ファンドの基準価額の変動要因には、この他にも劣後債の流動性リスクや繰上償還に関するリスクなどがあります。  
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 平成32年9月9日まで(平成28年3月18日設定)
- 決算日および収益分配 年2回の決算時(原則、3月および9月の9日(休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 当該投資信託の募集期間は終了しました。
- ご購入単位 当該投資信託の募集期間は終了しました。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- お申込不可日 販売会社の営業日であっても、お申込日当日が、「ニューヨークの銀行」または「ロンドンの銀行」の休業日に該当する場合には、原則、ご換金のお申込みができません。
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、少額投資非課税制度などを利用した場合には課税されません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

2017年3月現在

|                |   |
|----------------|---|
| ◆ご購入時手数料       | 当該投資信託の募集期間は終了しました。   |
| ◆運用管理費用(信託報酬)  | ファンドの純資産総額に年0.8964%(税抜年0.83%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。  |
| ◆その他の費用・手数料    | 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。<br>※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。 |
| ◆信託財産留保額(ご換金時) | 1万口につき基準価額に0.25%の率を乗じて得た額   |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に依り異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

◀分配金に関する留意点▶

- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。
- ファンドは、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先: 野村アセットマネジメント株式会社

- ★サポートダイヤル★ 0120-753104
- ★インターネットホームページ★ <http://www.nomura-am.co.jp/>
- <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時
- ★携帯サイト★ <http://www.nomura-am.co.jp/mobile/>

◆設定・運用は

野村アセットマネジメント

商号: 野村アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号  
加入協会: 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

# 日本企業外貨建て債券ファンド2016-03(為替ヘッジあり)/(為替ヘッジなし)

愛称: ボンドジャパン

## 販売会社一覧

| 金融商品取引業者等の名称 |        | 登録番号          | 加入協会    |                         |                         |                            |
|--------------|--------|---------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|              |        |               | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商品<br>取引業協会 |
| 株式会社東北銀行     | 登録金融機関 | 東北財務局長(登金)第8号 | ○       |                         |                         |                            |
| 株式会社大垣共立銀行   | 登録金融機関 | 東海財務局長(登金)第3号 | ○       |                         | ○                       |                            |
| 株式会社鳥取銀行     | 登録金融機関 | 中国財務局長(登金)第3号 | ○       |                         |                         |                            |
| 株式会社鹿児島銀行    | 登録金融機関 | 九州財務局長(登金)第2号 | ○       |                         |                         |                            |